

## 菰野町水道ビジョン（案）に対する意見募集（パブリックコメント）

### の結果について

#### 1. 実施結果の概要

- 募集期間 令和3年1月14日～令和3年2月12日
- 応募件数 1件（個人1人）  
（内訳）直接持参1件、郵送0件、ファックス0件、電子メール0件
- 意見項目数 4件

#### 2. 提出された意見と町の考え方

No.	意見趣旨	町の考え方
1	8ページの水源の維持、確保「渇水の場合の課題」ですが、夏季に日照りが長く続き、三滝川の水が枯れると、深井戸ポンプの地下水位低下は大丈夫なのか、節水の呼び掛けはあるのではないかといつも懸念しています。節水基準は設けていますか。また、深井戸の水位低下は年々低下しているのではないのでしょうか。若し、あるとすれば経年変化グラフを掲載して下さい。	菰野町の深井戸は、鈴鹿山脈に降り積もった雪の融水や雨水が100年以上かけてろ過された水を地下200mより採水しており、夏季等に日照りの影響を受けやすい三滝川の河川水とは水源が異なります。そのため11ページの（2）水源状況で、深井戸は渇水時でも安定して取水できる利点があると記載していますが、より分かりやすくするため修正します。節水基準や経年変化グラフについては今後の課題として参考にさせていただきます。
2	11ページの停電対策「災害対策への電源確保」ですが、最近では千葉県で台風災害で長時間停電が発生しました。発電装置の「運転時間8時間」とありますが、これは危険物貯蔵上及び旧運用指針ですので、災害時の長時間停電でも燃料の補充が出来るよう給油業者等と連携して対処方法を考えておく必要があると思います。	ご意見の通り、停電が長時間続く場合などで、自家発電機の燃料を補充する際には、関係各課や給油業者等と連携し、状況に応じて協定等も活用し対処する予定です。
3	12ページ「料金収入と給水人口の棒グラフ」ですが、2016年～2018年の棒グラフの落ち込みの理由と経緯を簡略に	料金収入の大きな増減については、年間給水量の変動が少ないことから（15ページの表5参照）、主に料金改定が影響し

	<p>欄外へ注釈を明記して下さい。(グラフから読み取ると少なくとも2億円は減収になり赤字と読み取れます。本来なら他の更新費用に充当できたのではないですか。あくまでも水道は公企業、電気の私企業とは料金値下げの意味合いが異なります。料金改定は長期間を見据え慎重に行ってください。)</p>	<p>たものですので注釈を追加します。12ページの表4グラフの一部に誤り(2016以前の料金収入)があったため修正します。他の料金改定等に関するご意見についても、今後の参考にさせていただきます。</p>
4	<p>20ページ「財政収支見通しのグラフ」ですが、補填財源の曲線が2022年から2030年にかけて2倍近く急上昇していますがその内容と理由をグラフの欄外に注釈を明記して下さい。</p>	<p>補てん財源は、内部留保資金でもあることから、19ページの財政計画の概要で料金収入の約1年分の確保が必要と考え、中長期的な事業計画や財政計画によりその金額まで確保できるよう計画しています。20ページの表6グラフ内の表記を内部留保資金に修正し、内部留保資金の注釈を追加します。</p>